

龍源寺報

孟蘭盆号

臨濟宗・妙心寺派	住職	松原信樹
佛母寺住職	松原覚樹	
正福寺住職	松原行樹	
TEL	3451-1853	
FAX	3451-6094	

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23 (郵便番号 108-0073)

Email: ryugenji@ryugenji.com

URL: http://www.ryugenji.com

追悼

泰道和尚は、毎朝、関東大震災・戦災などで亡くなられた方々にお経を読んでおりました。私も、震災でお亡くなりになられた方々にお経を読み坐禅をし、四十九日忌には、大般若経の写経をしている方々にも般若心経の写経をしていただき、観音堂に納めさせてさせていただきました。被災を受けられた全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

*

豊かさとは

多くの災害や戦争や事件がおおると、いつも思うことは、もしかしたら私がおおった場所にかかもしれなかったということだ。被災に遭われた方に起こり得たことは、全て自分にも起こり得る。つまり、自分だけにあり得ないということはずがない。生きているまさにここに死は存在することは、急逝した祖父・父から直接教えていただいた。

ある日、北軽井沢の浅間山の麓で農家をしている方とお話をしていた。ちょうど、浅間山が噴火

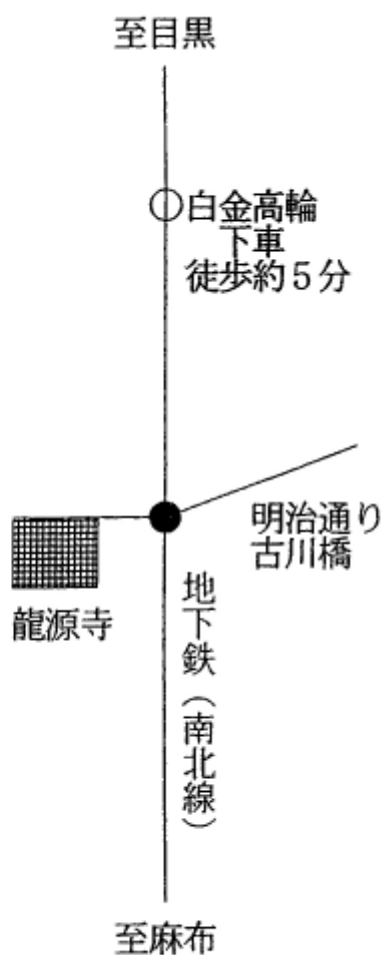
した時のことだ。「おじさん噴火怖くないの？」と聞いたら、「和尚さん、東京は通り魔がいるから東京の方が怖いよ」と。

釈尊は、「生・老・病・死」を説いた。それは、病氣・事故で人が亡くなるのではなく、もつと根源的に、生まれたから人は亡くなると解釈できる。今、私は元気に生活しているが、涙の悲しいこともたくさんある。思うに、人間は本来、苦難に耐えられるようにできている。そして、我慢をすれば人は強くなれる。しかし、近年多くの坐禅研修をしてきて、欲しいものは何でも与えられてきたせいなのか、我慢が続かない人が多いように思う。欲しいものが何でも手に入ることは、むしろ異常なことだ。私は、副住職時代、シルクロードやインドを旅して、経済的にとても貧しい人たちが、とても楽しく豊かに生きているのを見て、そのことは実感していた。震災後、せめて、若い人たちには、耐える経験をさせることが必要だ。携帯電話やパソコンから離れ、日月庵坐禅堂での研修のように、大部屋で複数の他人と生活し、自他共に助け合う力を持てるよう、心と体を鍛えることが必要だ。信頼できる人間関係とは、様々な苦境を共に乗り越えていく中で結ばれる。そういう中での人間の縁が、きっと豊かさの根源となるだろう。

ウラボン法要

- 一、七月十日(日曜日)午前十一時から
- 二、法話
- 三、齋座

お車での来寺には、駐車場がありません。



龍源寺への交通の便(地下鉄)

- 都営三田線(目黒または三田、南北線は白金高輪駅下車。徒歩五分)
- 2番出口から地上に出ると案内看板に「龍源寺」名あり

龍源寺への交通の便(都バス)

- 田87 渋谷駅ー田町駅 魚ラン坂下下車

- 都06 渋谷駅ー新橋駅 古川橋下車
- 品97 品川駅ー新宿駅西口 魚ラン坂下・古川橋下車
- 反96 五反田駅ー品川駅ー六本木ヒルズ(循環) 魚ラン坂下・古川橋下車
- 東98 東京駅丸の内南口ー目黒駅 魚ラン坂下下車

三人の偲ぶ会と禅の会四〇〇回

本年、松原泰道和尚・志ずの三回忌・松原哲明和尚の一周忌法要にあたり、多くの方々から寄せられたお声をもとに、左記の通り「偲ぶ会」を催したくご案内いたします。また、併せて、六月に泰道・哲明両師の主催した「禅の会」が、四〇〇回を迎えます。深甚の感謝と御礼を申し上げます。

〈記〉

日時 平成二十三年七月二日(土曜日)
十八時開宴「龍源寺 三人の偲ぶ会
と禅の会四〇〇回」
場所 グランドプリンスホテル高輪
地下一階・プリンスルーム
会費 金二五、〇〇〇円(一人)

ご出席いただける方は、会費振込先
「さわやか信用金庫」本店
普通貯金 二一九一四〇五

(宗教法人 龍源寺住職 松原茂樹)

締切 平成二十三年六月十七日(金)

哲明和尚追善茶会のお知らせ

毎年恒例の青山会主催「夏越の茶会」で哲明和尚の追善の席を行う事になりました。青山会では「禅語を読む」シリーズで故人が講師をとめておりました。今回、教え子の方々にお出まじいただき思い出を席中でお話しいただけることになりました。

〈記〉

日時 六月二十六日(日)
場所 高田馬場 茶道会館
会費 一万円
連絡先 龍源寺 〇三―三四五一―八五三
青山会 〇三―三三三三―三七七九
(NPO法人茶の湯文化研究所)

日月庵坐禅堂「作務の会」のお知らせ

北軽井沢日月庵坐禅堂にて二泊二日の作務の会を行います。毎年あまり坐禅の時間はとれませんが、有意義な会にしたいと思っています。夜は懇親会を設け、皆様と歓談の時間をとりたと思っています。お手伝い大歓迎します。

〈記〉

目的・・日月庵坐禅堂・研修所の大掃除
指導・・龍源寺住職
日時・・平成二十三年八月二十日(土)・
二十一日(日)二泊二日
集合・・八月二十日十一時日月庵・星雲苑
研修所に現地集合
昼食はご持参にて入山願います。
解散・・八月二十一日粥座後(十時頃)、
現地解散(予定)

持ち物・・シーツとタオル二本

所在地・・群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢

日月庵坐禅堂

電話番号・・〇二七九―八四―四二〇六

柳 緑

お盆の棚経に哲明和尚とお参りをさせていただきましたが、遷化されたことで、今まで通り

花 紅

の行程で棚経のお参りができなくなりました。新盆のお檀家様

と旧来から伺わせていただいているお檀家様には、お参りの日にちを、いつもの通り、六月中におはがきでお知らせ致します。皆様には、七月十日・午前十一時より龍源寺本堂にて厳修される孟蘭盆会・お施餓鬼の法要にご出席いただきたいと思ひます。たくさんのお寺さんに出頭いただきます。七月十日の孟蘭盆会・お施餓鬼の法要は、龍源寺で一番大事な行事です。▼今年には祖父の三回忌、父の一周忌・新盆を迎えます。六月十一日に寺院関係で法要を厳修し、別紙のとおり、七月二日に偲ぶ会を行います。どうぞ、皆様お越しく下さい。法要にあたり、泰道和尚・哲明和尚の本を龍源寺版として二冊出版することができました。カットと表紙は祖母の作品を使わせていただきました。母は、恐らく祖父母を無事おくり、きつと父とゆっくりしたかったろう。父もそう思っていたに違いな

い。我が家も津波のような大きなものに呑まれ、家族三人と多くの大切なものを失い、その呑まれた後のあたかも何もなかったような平然とした海潮音を、残された母と息子達で茫然と聞いていた。多くの方々に支えていただいた。縁にしたがい生きていくことを実感した二年間でした。▼幼少の頃から、お茶のお稽古をしている母が、六月二十六日・高田馬場の茶道会館で哲明和尚の追悼茶会を行います。どうぞおでかけください。▼八月二十日・二十一日に北軽井沢・日月庵坐禅堂で作務の会を開催致します。禅の会の野本さんがマイクを運転してください。費用は、バスのチャーター代・高速代・ガソリン代を参加人数で割り、一人八千円近くになります。草取りと研修所のお掃除を主に行いたいと思います。もちろん、現地に集合もできます。北軽井沢はとても涼しい所です。泰道和尚・哲明和尚が建立した坐禅堂を大切に護持したいと思っております。▼住職に就任し二年が経ちます。就任した直後から後継者のことを考え、先代・先々代と同様、雛僧(小僧)教育に力をい

れていきたいと思っております。できれば学問に裏打ちされた僧侶を輩出していきたいと思っております。▼お檀家様でお葬式をだされる場合、ご存知の葬儀社がない場合は、泰道和尚・哲明和尚の葬儀に使用した葬儀社を紹介させていただきます。いざ、ご家族が亡くなると為すべき事がたくさんありすぎて、慌ただしいのが現状です。仏事に慣れている僧侶の私でさえ大変な思いをしました。もし、お葬式をだされる際、お坊さんがいないとお葬式ができないうえにまず、一番はじめに龍源寺にお電話を入れていただきたいと思ひます。龍源寺本堂、もしくは花園会館を使用し、てのお葬式・密葬・家族葬も執り行うことができます。(本堂・花園会館使用の際は指定業者となります)▼震災の後の春彼岸会に多くの方々がお参りにみえました。お斎であるちらし寿司もお供えることができました。お手伝いの方々もお足元の悪い中、御来山いただきました。他にもご尽力いただきながらご拝眉の機会もな

い方がいらつしやるかと思ひます。ここに深甚なる御礼を申し上げます。(信樹)